

平成 28 年 6 月 2 日(木)

15:00～17:00 302 会議室

1. 市長あいさつ

後期実施計画の諮問をするに当たって、私の思いを述べたいと思う。私的見解であるため参考程度にさせていただきたい。18 年前、市長になったとき、市役所内の女性の採用、女性管理職の比率、各種審議会の女性の比率を上げることが一つの目標であった。今日までにそれなりの成果があったと思う。現在の女性職員の比率は 49%。女性の管理職比率目標は 30%であるが、まだ達成はしていない。管理職相当年齢の女性職員の比率が低いためであり、今後は自然に増えていくと考えている。審議会委員女性比率は 40%で目標達成している。今後も引き続き努力を続けていく。第 2 段階として、農業・自治会・企業へも着手していきたい。日本全体での人手不足に対しては、女性、高齢者、ロボット、留学生の活用が考えられる。中でも一番効果が期待できるのは、女性の参画である。特に、女性が働きやすい環境を整えると同時に、出産後も働き続け、キャリアアップができる状況をつくることが求められている。これらの環境整備に投資したとしても、それ以上の成果があるという考え方が芽生えてきている。どのように働きかければ企業内に女性が登用されていくかについては、知恵が必要であり、本市において、先駆的に取り組むことができれば、素晴らしいことだと思っている。しかし、企業を説得するためには、「女性のために」だけでは弱く、大きな目で見ると企業の発展に繋がるというストーリーを作らないと実行には至らないと思っている。

2. 委嘱書交付

長崎 隆児 氏

3. 附議事項

(1) 第 2 次古賀市男女共同参画計画（後期実施計画）諮問

省略

(2) 第 2 次古賀市男女共同参画計画（後期実施計画）策定方針について

省略

(3) 市民・事業所意識調査について

省略

(4) 平成 28 年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告（27 年度分）について

会 長 事前に資料が届いていたと思う。皆さんと意見の交換を行いたい。

事務局 今年度より、全項目について、評価・意見をいただきたい。グループで各項目を 1 時間審議していただき、その後、発表していただきたい。事務局でまとめたものを、次回、確認していただき、今年度の評価・意見としたいと考えている。指定した 3 グループに分かれて、割り当ての項目を審議していただきたい。

(1 時間後)

会 長 どのような審議があったか、5 分程度で発表をお願いしたい。

委員 I-1-(1)-①について、つどいの参加者の参加者数は評価できる。男性の参加者が少ない印象があるので、今後、男性を増やす工夫が必要。今年度のフォーラムもそうだが、有名な人を呼んで、参加者を増やそうという取り組みはいいと思う。しかし、この人目当てにくるのは、女性が多いのではないかという印象がある。男性を上手く引き込む工夫を考えてほしい。一行詩については、似たような作品が多くなってきている現状がある。他の自治体では川柳を募集しているところもある。特に良かったものを、一年間ポスターに使うためには、一行詩がいいツールであることは理解できる。それぞれの学校で一度生徒に考えてもらうことに意義があると思えば、このままの形で継続することも無駄ではない。難しいところではあるが、このまま継続するか検討してもよい時期ではないか。

②について、市ホームページは自分でも見てみようとしたが、男女共同参画のページにたどり着けなかった。せつかく力を入れて作っていても、実際にページを見ている人は多くはないのではないか。トップページから目立つようにリンクを貼るなど、工夫が必要。広報誌は、イベントの案内が多く、直接男女共同参画の啓発（固定的性別役割分担意識の是正など）につながる内容が掲載されていない。広報誌を活用して、直接の啓発を検討してほしい。

(2)-①について、ガイドラインについては非常に評価できるが、市職員に対する限定的なものであったので、広く活用してほしい。

②について、メディアリテラシーに関する講座をしばらく行っていないようなので、可能であれば実施してほしい。

2-(1)-①・②について、セクシャルマイノリティ、LGBTQ への理解を深めるような研修がこれから必要なのではないか。

(2)-①・②について、PTA 会長に女性が少ないという状況で、現在は 1 人いるということなので、広報などで活躍されている女性の方を上手く紹介して、啓発につなげてほしい。

II-1-(1)-①・②・③について、取り組みが進んでいて、女性の割合があがっていることが見受けられるので、引き続き取り組みをお願いしたい。

会長 II-2-(1)-①・②について、イクメン道場やすこやか教室などいいことをやっているが周知が足りないのではないか。すこやか教室で土曜開催を行っているようだが、実際に効果があつたのか教えてほしい。介護支援課では認知症サポーター養成講座などを行っているが、男女別の記載など、男女共同参画を意識した報告が望まれる。また、例えば、性・年齢別に応じた講座、男性の 40～50 代は入門編などの工夫が必要では。近所同士の助け合いを男性向けにすすめていく必要があると思った。

(2)-①について、地域で格差があるということだが、地域に対する配慮が必要ではないか。成果が抽象的に書かれているので、具体的にどうするのかを記載してほしい。やったことの効果測定も合わせて記載願う。

②について、「女性の参画の必要性を伝えていく」と記載されているが、具体的に何を行うのか記載がほしい。「ぐりんぐりん」は女性の参画を進めようとしている男性リーダーの意識が見える。

③について、成果があがっていると思われる。

3-(1)-①について、男女共同参画というネーミングでは浸透しにくいのではないか。ワーク・ライフ・バランスという言葉を使用するのはどうか。小さい事業所が頑張っていることを表彰

することは有効なので、そのこと自体を制定した方がよい。

②について、商工政策課は、男女共同参画事業所意識調査を積極的に活用するとよいのではないかな。

3-(2)-①について、農業委員の女性が増えている。農業委員は、知識や情報が必要なので、女性に対しては意識的な学習機会が必要である。「家族経営協定」については、実態が見えないので、調査をする必要があるのではないかな。実態は、夫婦というよりも親子間に重きを置かれている。認定農業者の女性が少ないという情報もある。

②について、団体の支援は民間と共同して頑張っていることは評価できる。

Ⅱ-4について、「女性研修の翼」に参加した人は、継続的に活動を行い、成果を活かしてほしい。

Ⅲ-1-(1)-①について、意識調査の報告にも出ていたが、子育てに男性が参加する姿勢を子どもたちに見せる必要があるので、保育士の処遇改善を行って、男性保育士を増やすことを積極的に行ってほしい。

②について、ファミリー・サポート・センターの報告には、男女別の記載がないので、記載願う。登録数だけでなく、利用状況の数値を知りたい。

(2)について、一般的な内容に留まっているので、それを行ってどのような効果があったのかまで記載してほしい。

副会長 Ⅲ-1-(3)-①について、男性の受講者が少ないので、もっと参加者を増やす工夫を行ってほしい。

②について、アンビシャス広場は、校区別の詳細を示してほしい。「男性が関わっていないところもみられる。」の根拠を教えてください。

(4)-①について、給付金支給事業は、父子家庭への周知も積極的に行ってほしい。就労支援に向けたパソコン教室は、就労機会が増えるので今後も継続してほしい。

②について、利用者数を増やす工夫をしてほしい。

(5)-①について、チラシを配架しただけでは、周知にならない。講座などを行う必要があるのでは。

②について、絶対に必要な窓口であるので、充実を図って欲しい。

(6)-①について、終活を行っているが、その前の段階、中高年になってからの20年をどのように過ごしていくかなどの講座も行ってほしい。

②について、介護従事者の交流などが行われているようだが、ぜひ介護支援者の交流を行ってほしい。認知症発症者を地域で支えるネットワークづくりを目指してほしい。

Ⅲ-2-(1)-①について、健康福祉まつりなどで健康チェックを行っていることは評価できる。今後も継続してほしい。

②について、ゲートキーパー研修を市の職員に行ったことは評価できる。市民ウォーキングを年2回行うことは、今後も継続できるように行ってほしい。HIV/エイズに関する啓発は、ポスターやチラシの掲示だけで終わっているように見受けられる。薬物乱用などの教育講座を直接子どもたちに学校単位でやってほしい。

(2)-①について、花見小学校で行われている講座を必ず卒業までには1回講座を受けているという状況にするため、全小学校においても行ってほしい。

Ⅳ－１－(1)－①について、DVに関する講座を行政からも行い、評価できる。

②について、女性ホットラインのカードを女性用のトイレにおいていることは非常によい取り組みで評価できる。「こが女性ホットライン」の周知も十分行ってほしい。

③について、かなりデリケートな問題なので、継続して取り組んでほしい。

(2)－①について、潜在化している問題なので、特にセクハラについては、中小企業へのケアがほとんど進んでいないと思われるので、事業所のセミナーを何かの講座と同時開催でもよいので、行ってほしい。

会 長 事務局で文字に起してもらい、次回振り返りを行いたい。

4. その他

(1) 平成28年度「日本女性会議」(秋田10月28日～29日)参加について
(予算：審議員1名 随員職員1名) 職員1名、市民募集2名

(2) 次回開催日について
事務局：7月下旬に開催したい。